

それは、「種も仕掛けもある」不思議な星空。

100 Jahre
PLANETARIUM

宇宙の模型

MODELL
DES
UNIVERSUMS

プラネタリウム誕生物語

Das Geburtsgechichte des
PLANETARIUMS



声の出演

坂本 真綾

制作・著作・配給

Astrolab/Polano LLC
<https://astrolab.jp/planetarium100/>



プラネタリウム
100周年

2024年9月8日(日)まで投影延長

投影スケジュール等は変更になる場合があります。
最新の情報をホームページからご確認ください。

土曜・日曜・祝日(7/6、7/7を除く※1) 15:30

夏休み期間※2の火～金曜日(8/13(火)休館日を除く) 15:30

※1…7/6(土)、7/7(日)は特別投影「セタ」のため、本番組の投影はありません。

※2…夏休み期間…7/22(月)～8/31(土)

■ 投影時間 約50分(星空の生解説約25分と番組「宇宙の模型」25分)

■ 料 金 プラネタリウム観覧料 一般410円 中学生以下210円

■ 所在地 川口市上青木3-12-18 SKIP シティ内 ■ TEL 048(262)8431

■ ホームページ <http://www.kawaguchi.science.museum/>



川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum





STORY

100年前のプラネタリウム誕生の場面にタイムスリップ

昼間も雨の日も、いつでも満天の星空に出会えるプラネタリウムは、ある日突然地上に現れたわけではありません。有史以来、星空に魅了されてきた人類が、様々な「宇宙の模型」作りにチャレンジした末に誕生した、「種も仕掛けもある」不思議な星空です。古代ギリシャの天球儀や、惑星の動きを再現した天体運行儀など、過去の宇宙の模型はどのような形で、現在のプラネタリウムに反映されたのでしょうか？100年前にプラネタリウムを発明したエンジニアのノートもひも解きながら、開発の秘密に迫ります。プラネタリウムの原点を見つめなおす番組です。



それは、「種も仕掛けもある」不思議な星空。



DETAIL

リアリティを追求した娯楽科学(エデュテインメント)作品

- 100年前に初めて作られたプラネタリウムの特徴を徹底解説(恒星・惑星投影機)
- プラネタリウム開発者が実際に描いた図面(未公開資料など)
- 日本初のプラネタリウム、大阪市立電気科学館の投影を再現
- 3DCG、2Dアニメーション、手描きイラストをブレンドしたドーム映像表現



声の出演：坂本真綾 作曲：小林 樹 編曲・音響編集：北城浩志
CG制作：並木優子(Astrolab) 広橋 勝 デザインワークス/2Dグラフィック：野呂和史
フリーハンド人物画：清水 司 監修：井上 毅